

公表

事業所における自己評価結果

| | | | |
|------|-------------------------|-----|---------------------------------------|
| 事業所名 | 放課後等デイサービス アットすまいる北山松ヶ崎 | 公表日 | 令和8年 2月1日(回答期間: 令和7年12月5日~令和7年12月20日) |
| | | 回答数 | 職員数: 14人、回答数: 10件、回答率71% |

| | | チェック項目 | どちらとも いいない | | いいえ | 意見 | 改善目標・工夫している点など |
|-------------|----|---|---------------|-----|-----|--|--|
| | | | はい | いいえ | | | |
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | 4 | 1 | ・定員枠が一杯の時は狭く感じる。 ・ボール遊びをしたい子供達、バランスボールで遊ぶ子供、プ ラレールをしたい子供、等々場所が広くない危険である。 | 遊びを始める前に、十分に遊べる場所へ誘導するようにしていま す。 ボール遊びはルールをスタッフで設定して、危険な場合は他の遊び に誘導しています。 |
| | 2 | 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切 であるか。 | 2 | 7 | 1 | ・かなり曜日によってばらつきがある。 ・曜日によって手のかかる子供が多いのに、学生さんや他の事 業所からのスタッフばかりで、負担が多い時がある ・適切な曜日もあるかとは思いますが、北山の場合、個別支援 が必要な子供が多く、ちょっと目を話した際の事故が怖いで す。 | 最低限以上のスタッフ数になるよう調整に努めます。 社員が事務作業で事務室に入る時間に室内が負担にならないよう、 状況を見て行動していきます。 |
| | 3 | 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境にな っているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バ リアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされてい るか。 | 3 | 6 | 1 | ・身体的に重度な子供達にとっては横になって過ごせるスベ ース等の確保が必要かもしれない。 ・玄関マットに転がる子供達が多く衛生的とは言えない。プレ イルームのロッカーの鍵を整備するべき。勝手に開けるため、 中のものが落ちたりしないか不安である。 | 学習室を一時的な休憩スペースとして活用しています。 状況に応じて新品のマットと交換して寝転べるようにしています。 ロッカーに合う鍵を早急に購入します。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている か。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | 3 | 1 | ・清潔で心地良い空間を心がけているが、時間的に難しいこ ともある。 ・どうしても、床が汚れるので、掃除の工夫が必要かもしれな い。昼寝や寝転がるスペースを確保したいが、なかなか難し い。悩ましい。 | 除菌シートを用意しているので、最後の清掃時に床の拭き掃除を積 極的に行っています。 |
| | 5 | 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用するこ とが認められる環境になっているか。 | 9 | 1 | 0 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返 り)に、広く職員が参画しているか。 | 3 | 5 | 1 | ・日々の業務申し送りや口頭で伝え合っていると思う。 ・正職員の方々はできていると思いますが、パート職員には、 行き渡っていないと思います。 | 引き続き申し送り時の情報共有と、支援中に起きた情報も積極 的にコミュニケーションを取り合い、共有させていただきます。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機 会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | 3 | 0 | ・保護者の方の意向は社員さんの方から聞いている。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業 務改善につなげているか。 | 9 | 0 | 0 | ・その時々意見等は話しやすい環境にあると思う。 ・北山では、パートの立場でありながらも、意見を伝えられ ています。ありがとうございます。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につな げているか | 3 | 4 | 0 | ・社員ではないのでわからない。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法 人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 10 | 0 | 0 | ・研修システムは充実していると思います。 | 引き続き研修は実施するので、たくさんの方に参加していただ くよう告知していきます。 |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 8 | 1 | 0 | | |
| | 12 | 個々の子供に対してアセスメントを適切に行い、子どもと 保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等 デイサービス計画を作成しているか。 | 8 | 0 | 0 | ・社員ではないのでわからない。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支 援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共 通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行わ れているか。 | 7 | 1 | 0 | ・社員ではないのでわからない。 ・モニタリングで、スタッフの意見を聞いてもらい、各子ども への最善の支援を考えていると思います。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に 沿った支援が行われているか。 | 5 | 3 | 0 | ・社員ではないのでわからない。 ・計画に沿った支援を行う努力はしますが、やはりスタッフ人 数が少ないとうまく進みません。 | スタッフ数の確保に努めます。 |
| | 15 | 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いた フォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含む インフォーマルなアセスメントを使用する等により確認し ているか。 | 5 | 3 | 0 | ・SM社会生活能力検査の内容が支援計画で活かされているかわ かりません。 | 5領域アセスメントとS-M社会生活能力検査によるアセスメントは全 員に実施しており、必要に応じて日々の行動記録を取るなど、より 正しく理解し支援に繋げられるように努めています。 |

| | | | | | | | |
|--------------|--|--|---|---|-----------------------------------|---|--|
| 適切な支援の提供 | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 3 | 3 | 0 | ・詳しく計画を見ていないのでわかりません。 ・社員ではないのでわからない。 | 全項目を網羅した個別支援計画を作成し、保護者の方の同意を得た上で交付しております。今後もライフステージやご本人・保護者様のご意向にあわせて、支援内容を見直してまいります。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 4 | 1 | 1 | ・正職員が立案して、パートスタッフは、担当となったら内容確認して、プログラムにかかわるようにしている。 ・社員ではないのでわからない。 | 立案が社員中心になっているので、パートスタッフからの聞き取りも今後進めてまいります。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6 | 2 | 0 | ・社員ではないのでわからない。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 4 | 4 | 0 | ・支援計画と実際の支援では、厳しい状況はあるが、全スタッフは1人1人の支援に共通認識を持っている。 ・社員ではないのでわからない。 | 子どもの支援計画に基づき、特性理解と支援方法について申し送りでも共有していきます。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 8 | 1 | 0 | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 2 | 4 | 2 | ・その日に気付いたことは話している。 ・行われた時期はあるし、必要性も感じているが、送りの時間がバラバラであるので、各スタッフが気づいたことや気になることは、正職員に伝えるようにしている。 | 残業にならないよう配慮しながら、支援終了後に気になった事を話し合い出来るよう、適宜声かけをして話しやすい雰囲気作りをしていきます。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 3 | 5 | 0 | ・課題を抱える子供の記録は分析するうえで取るようにするが、それ以外は実際にできていない。 ・社員ではないのでわからない。 | 誰もが気軽に記録を取るように、用紙を設置しております。さらに活用していけるように、設置場所やフォーマットを再検討いたします。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 9 | 0 | 0 | | |
| | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 5 | 1 | 0 | ・所長または管理責任者が出られている。 | |
| 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 3 | 3 | 0 | ・実際のところわかりません。 ・社員ではないのでわからない。 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 5 | 1 | 0 | ・全児童ではありませんが、医療ケアが必要な子ども、児童相談所が関わる子どもは、連携をしていると認識しています。 ・社員ではないのでわからない。 | |
| | 27 | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | 2 | 4 | 0 | ・地域全体となるとわかりません。 ・社員ではないのでわからない。 | 自立支援協議に参加し、個々の課題を地域課題をしてあげること、地域全体の福祉の向上に繋がると考えています。また、京都市等が主催する研修に参加した際は、事業所間の横の繋がりを強化できるよう、関係づくりに努めています。 |
| | 28 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 2 | 4 | 0 | ・社員ではないのでわからない。 | 現状、そのような機会はありませんが、より質の高い支援を提供するため、今後検討いたします。 |
| | 29 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 0 | 5 | 1 | ・社員ではないのでわからない。 | 地域のイベントへの参加をプログラムとして取り入れています。工事中の近くの公園が完成したら、積極的に公園遊びを取り入れていく予定です。 |
| | 30 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 8 | 0 | 0 | ・送りの時に子供の状況は、ポジティブにお伝えし、保護者の不安があれば何うようにしている。 | |
| | 31 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 0 | 6 | 0 | ・ペアレントトレーニングや現在の社会状況を学ぶ機会は必要と思います。 ・社員ではないのでわからない。 | 以前は外部講師をお招きし、ペアレントトレーニング研修を行っていましたが、コロナ禍以降実施しておりません。保護者様へ情報提供ができるよう、今後も情報収集に努めてまいります。 |
| | 32 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 5 | 1 | 0 | ・社員ではないのでわからない。 | |
| | 33 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | 2 | 0 | ・社員ではないのでわからない。 | |
| | 34 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 6 | 2 | 0 | | |
| 35 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 6 | 0 | 0 | ・モニタリング時には聞いてられるのではないのでしょうか。 | | |

| | | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|---|---|---|
| 保護者への説明等 | 36 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 1 | 4 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまで聞いた事はありませんが、必要だと思います。 ・社員ではないのでわからない。 | 保護者会もコロナ禍以降、実施しておりません。保護者の方のご意向を確認しつつ、必要に応じて交流の場を設けられるよう、引き続き検討いたします。 |
| | 37 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 6 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・相談には迅速に対応しているように思います。 | |
| | 38 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 9 | 0 | 0 | | 毎日、保護者様向けの活動記録（HUG内）をアップし、プログラム表とお便り「すまいる便」を毎月配布しております。また、事業所ごとにInstagramを運用し、開かれたクリーンな事業所を目指しています。 |
| | 39 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 9 | 0 | 0 | | |
| | 40 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 9 | 0 | 0 | | |
| | 41 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 3 | 0 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・そこまでできていないように思います。 | スペースの都合もあり事業所内に来ていただくことは難しいのですが、外部の場所を借りて交流できる機会を企画しております。 |
| | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 9 | 0 | 0 | | |
| | 43 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 8 | 1 | 0 | | |
| | 44 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 6 | 2 | 0 | | |
| 45 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 3 | 4 | 0 | | | |
| 非常時等の対応 | 46 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 5 | 3 | 0 | | 安全計画に基づく防災学習や一次救命処置に関する研修を年に1回実施しております。外部の有資格者より、実技形式にて学ぶ機会を設けております。 |
| | 47 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 4 | 2 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・わかりません。 | 年に一度「安全計画」の更新を行っており、9月（防災月間）に保護者の皆さまへお渡ししております。スタッフへは、安全研修の中で周知しております。研修欠席者へは書面で確認していただいております。 |
| | 48 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 9 | 0 | 0 | | |
| | 49 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 9 | 0 | 0 | | 年に一度、外部講師の方を講師に招き、ご講演いただいております。京都市等が実施する研修にも積極的に参加し、事業所内で研修内容の共有を図り、虐待防止に努めております。 |
| | 50 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 9 | 0 | 0 | | 法人内に設置された委員会の他に、事業所内でも身体拘束適正化委員会を定期的に実施し、意識の向上に努めております。必要に応じて、個別支援計画にも記載しご説明しております。 |